KENWOOD

UHF デジタル簡易無線電話装置

TCP-D201

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

© B62-2284-20
09 08 07 06 05 04 03 02

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) を示しています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜け）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

使用環境・条件

- 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

バッテリーパックの取扱について

バッテリーパックは以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

- 充電温度範囲は、5℃～ 40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。

- 専用充電器以外では充電しないでください。

- 本機以外の機器に取付けないでください。

- 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。

- 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

- 水の中に落した場合は使用しないでください。

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

- 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠警告

使用環境・条件

● 交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。
● 電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
● 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では、絶対に使用しないでください(電源も入れないでください)。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたすおそれがあります。
● 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
● 本機は上空および海上での使用はできません。
AC アダプターの取扱について

● AC100V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
● タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。
● 濡れた手で電源プラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
● 電源プラグは AC コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
● 電源プラグの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因になります。
使用方法について

● 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホン等のケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。
● 本機に水が入らないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

- 本機は "IP67(JIS 保護等級 7: 防浸形)" の構造になっていますが、海水や砂、泥などが付着したまま放置しないでください。また、雨の中や水滴が付着したり濡れた手でバッテリーパックやアンテナ、オプションの装着を行うと防水性能に影響を与える場合があります。

- 本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

- 本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

異常時の処置について

- 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

- 落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。

- 煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、バッテリーパックを外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源スイッチを切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

保守・点検

- 本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

  お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠注意

使用環境・条件

● テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

● 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

● 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

充電器の取扱について

● 充電器のコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電・故障の原因となることがあります。

● 充電器の電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってください。コードを引っぱると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。

使用方法について

● アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。

● ユニバーサルコネクターには当社指定のオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

- 乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用した時に静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じることがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。

- 長期間使わないときは、電源スイッチを切り、バッテリーパックを外して、AC アダプターの電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

保守・点検

- お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーパックや乾電池を外して、AC アダプターの電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

- 水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

防水性能に関するご注意

本機は水深 1m(真水)の水没に30分間耐えることができる"IP67"(JIS 保護等級7: 防浸形)の構造になっています。
付属のアンテナ、ユニバーサルコネクターカバー(またはオプションのスピーカーマイクなど) および当社指定のバッテリーパック(別売り品)を無線機本体に装着することにより、JIS 保護等級7:(防浸形) 保証の性能になります。防水性能に影響を与え、故障の原因となる場合がありますので、下記の注意事項をご確認ください。

- 本品の防水性能は真水環境にてのみ性能を保証しております。塩水がかかる環境でのご使用は 無線機器の腐食の原因になり、防水性能の保証はできません。
- 水中では使用しないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 「分解」または「改造」はしないでください。法律で禁止されています。
- 真水以外の液体やアルコールや有機溶剤などを含む汚れた水を付着させたり浸したりしないでください。
- 真水以外の液体や砂、泥水などが付着してしまった場合は、そのまま放置せず直ちに水に浸した布をしぼってから汚れをふきとり、そのあと乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- 汚れを落とす際は、蛇口からの水や湯を直接当てないでください。また、スチーム洗浄や高圧洗浄機、エアーダスターなどは使用しないでください。
- 雨の中や、水滴が付着したり濡れた手でバッテリーパックやアンテナ、オプションの装着を行うと防水性能の保証はできません。
- ユニバーサルコネクターに接続するオプションは、必ず当社指定品を使用してください。
- マイク部分やスピーカー部分に直接水が侵入すると、音声に歪みが生じる場合があります。その際はご使用になる前に本体を軽く振って水滴を取り除いてください。
- イラストに示す本機裏側の黒丸のシートは剥がさないでください。
- 本機裏側、およびバッテリーパックの裏面にはシールやステッカーなどは貼らないでください。
- IP67 規格の防水性能を維持するため、保証期間終了後は、年に一度の定期点検 (有償)をお薦めします。

通信方式について

本機はデジタル、アナログ両方の機能を搭載しています。設定はお買い上げの販売店にご依頼ください。

電波法の改正により 2022 年 12月 1 日以降、アナログの 400MHz 帯の簡易無線機は使用できません。この場合、デジタル簡易無線機 (DCR=Digital Convenience Radio) への切り替えが必要になりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

免責事項について

本機の故障・誤動作などにより、利用の機会 (通話など) を逸したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

電波法に関するご注意

- 本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。使用できなくなります。
- 本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。
- 無線機の使用が禁止されている所があります。航空機内、空港敷地内、新幹線車両内などでは使用しないでください。

目次

ご使用の前に

基本操作

応用操作

その他

取扱説明書の記載内容について

この取扱説明書では、代表的な使用例としての設定による説明が記載されています。**販売店において各種設定を変更している場合がありますので、操作方法や表示部の表示内容などが本書の説明と異なる場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合せください。**
また、下記のマークが付いた機能は、それぞれデジタル通信方式およびアナログ通信方式に設定されている場合にのみ対応する機能の説明です。
デジタルモードのみ　アナログモードのみ

説明上の注釈表記について

このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。

このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

準備する

付属品を確認する

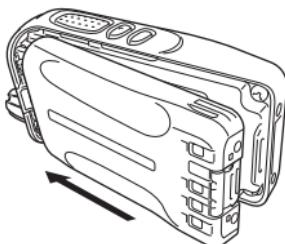
付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

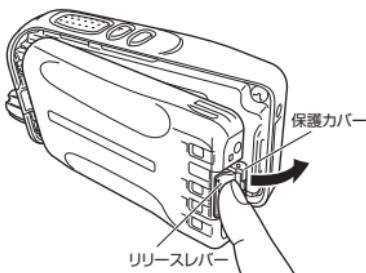
名 称	数 量
アンテナ	1
ユニバーサルコネクターカバー	1
取扱説明書（本書）	1
保証書	1
サービス拠点一覧表 (ケンウッド全国サービス網)	1

バッテリーパック (オプション) の取り付け/取り外し

オプション(別売品) については、37 ページをご確認ください。

● 取り付ける

図のようにバッテリーパック裏側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、「カチッ」と音がするまではめ込みリリースレバーをロックさせます。保護カバーを閉じます。

● 取り外す

バッテリーパックの保護カバーを開いて、リリースレバーを押しながら取り外します。

● バッテリーパックの取付け、取り外しの際は爪や指を傷めないよう十分ご注意ください。

バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電を行ったり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電／放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、当社営業担当窓口または代理店へお持ちください。
リサイクルにご協力お願いいたします。

使用済み充電式電池の取扱注意事項

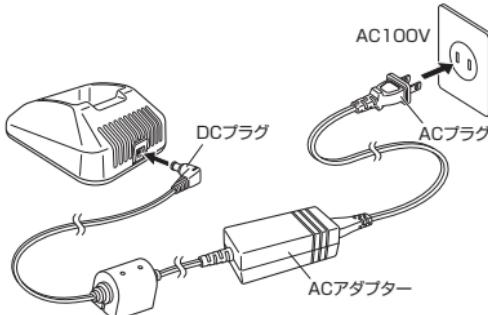
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

- バッテリーパック、充電器、AC アダプター、ベルトフックは専用品を使用してください。
- バッテリーパックはお買い上げ時に満充電されていません。お使いになる前に必ず満充電にしてご使用ください。
- 長時間お使いにならないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
- バッテリーパックの端子をショートさせたり、バッテリーパックを火中に投じたりしないでください。また、分解しないでください。

充電のしかた

はじめてお使いになるときや、使用後は必ず充電してください。

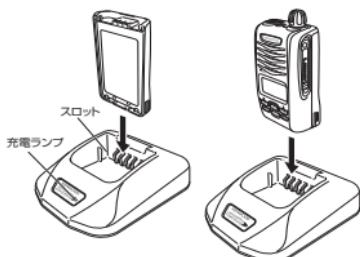
1 ACアダプターの DCプラグを充電器のDC IN端子に差し込む

2 ACアダプターのACプラグをACコンセントに差し込む

3 無線機またはバッテリーパック単体を充電器に差し込む

※無線機本体を充電器に差し込む時は、電源を OFF にしてください。

充電ランプが「赤」に点灯します。充電時間の目安は下記のとおりです。

・KNB-57L：約 2 時間 30 分
・KNB-62L：約 1 時間 35 分

充電ランプの表示について
赤色：充電中　　緑色：充電完了

4 充電ランプが「緑」に点灯して、充電が完了する

無線機またはバッテリーパックを抜き取ります。

充電ランプが点灯しない、または赤色点滅する場合は・・・

- 正しく差し込まれていない→再度差し込みなおしてください。
- バッテリーパックが異常である→新しいバッテリーパックを使用してください。
- 端子が接触不良になっている→端子を綿棒や乾いた布で拭いてから、再度充電してください。
- バッテリーパックが極端に高温または低温になっている→室温に戻してから、再度充電してください。

- **必ず専用のリチウムイオンバッテリーパックを使用して充電してください。**指定以外のバッテリーパックを用いて充電すると故障の原因になります。
- 充電端子を金属物などでショートさせないでください。
- 本体やバッテリーパックが濡れたままで充電すると、故障の原因になります。本体やバッテリーパックが濡れているときは、乾いた布でよくふき取ってから充電器に差し込んでください。
- 充電器の端子は、ゴミなどが付着しないように綿棒や乾いたやわらかい布で時々拭いてください。
- 充電器の近くで無線機を使用すると、充電器が誤動作することがあります。

バッテリーの持続時間（目安）について

持続時間は送信 3 秒、受信 3 秒、待受け 54 秒、バッテリーセーブ機能（→ 32 ページ）OFF の連続使用にてテスト使用した場合の目安です。

■ リチウムイオンバッテリーパックの使用可能時間（バッテリーセーブ OFF）

・KNB-57L： 約 11 時間 (デジタル / アナログモード共)
・KNB-62L： 約 7 時間 (デジタル / アナログモード共)

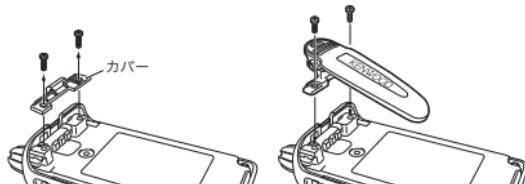
■ リチウムイオンバッテリーパックの使用環境についてのご注意

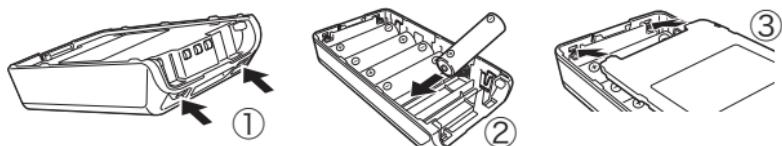
・KNB-57L： − 20℃～＋ 60℃の温度範囲でご使用いただけます。
・KNB-62L： − 10℃～＋ 60℃の温度範囲でご使用いただけます。− 20℃以上− 10℃未満の温度環境でご使用になる場合は、ローパワー出力でご使用になるか、KNB-57L をご使用ください。

アンテナを取り付ける

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタに時計方向（右）に固定されるまで回して確実に取り付けます。

ベルトクリップ (オプション) を取り付ける

図のように本体のネジとプラスティックカバーを取り外します。次にベルトクリップと本体のネジ穴を合わせて、取り付けます。ネジは必ずベルトクリップに付属のネジを使用してください。

バッテリーケース (オプション) を取り付ける

① 図のように2カ所のタブを同時に押してカバーを開けます。
② 単三アルカリ乾電池 6 本を極性に注意して入れます。
③ カバーのタブをケースのミゾに合わせて元通りはめ込みます。
取り付け / 取り外しはバッテリーパックと同じです。12 ページを参照してください。

- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用したり、異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ニカド電池やマンガン電池は使用しないでください。
- 長時間使用しない場合は、バッテリーケースを取り外してください。

ユニバーサルコネクターにカバーを取り付ける

オプションのスピーカーマイク等を使用しない場合は、付属のネジを使用して取り付けます。

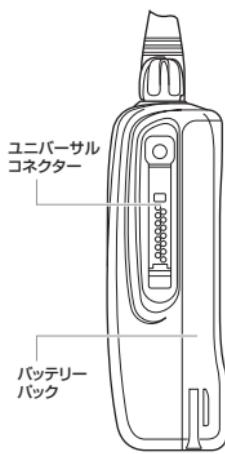
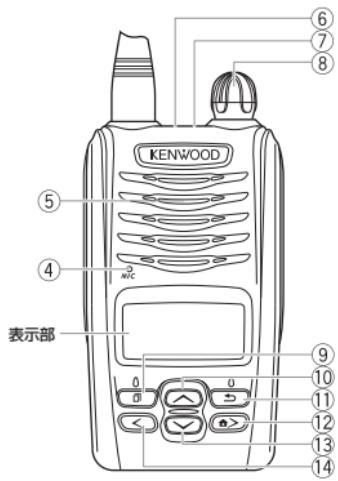
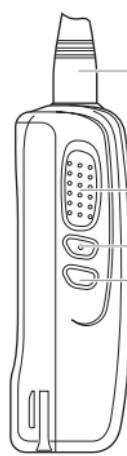
ユニバーサルコネクターにオプションを接続する

無線機本体のみぞにオプションのスピーカーマイクロホンのガイドを差し込み、ネジでしっかり固定してください。ネジは手で締め付けできますが、確実な防水性能を確保するために、締め付け･取り外しの際はコイン等を使用してください。

- ユニバーサルコネクターカバーまたはマイクコネクターを取り付けていないと、本機の防水性能は保証できません。
- オプションを取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、断線の原因になります。

各部の名称

本体

アンテナ
①
②
③
KENWOOD
⑤
④
MIC
表示部
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
ユニバーサル
コネクター
バッテリー
パック

① **【PTT】スイッチ**
押すと送信されます。押したまま
マイクロホンに向かって話します。

② **【Side1】キー**
機能が登録できます。

③ **【Side2】キー**
機能が登録できます。

④ **マイクロホン**

⑤ **スピーカー**
受信音声を出力します。

⑥ **【AUX】キー**
機能が登録できます。

⑦ **送受信 LED**
送信時は赤色に点灯します。
受信時は緑色に点灯します。

⑧ **【PWR/VOL】**
電源 ON/OFF、および音量調
節をします。

⑨ **【 】キー**
機能が登録できます。

⑩ **【 】キー**
機能が登録できます。

⑪ **【 】キー**
機能が登録できます。

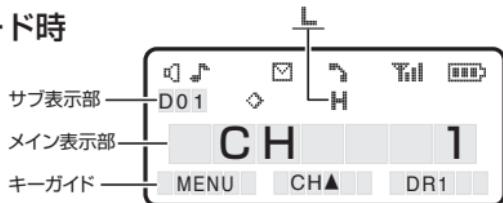
⑫ **【 】キー**
機能が登録できます。

⑬ **【 】キー**
機能が登録できます。

⑭ **【 】キー**
機能が登録できます。

- キーに登録する機能はあらかじめ販売店にて設定されていますが、変更も可能です。販売店での設定変更が必要になります。（27 ページの「PF(プログラマブルファンクション)」を参照）
- 設定された機能は34ページの「キー機能割り当てメモ」に記入しておくと便利です。

表示部

通常モード時

ファンクションモード時

表示	説明
	モニター / スケルチ解除を表示します。
	受信履歴 (スタックデータ) を表示します。 デジタルモードのみ 点灯：受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅：受信履歴に未読のメッセージがあります。
	受信している電波の強さに応じて表示します。 : 強　: 中　: 弱　: 微弱　消灯：キャリア無し
	バッテリーの残量を表示します。 : 高　: 中　: 低　: 要充電
	秘話通信機能 ON を表示します。 デジタルモードのみ
	サイレントアラーム機能を表示します。 : サイレントアラームが設定されると点灯します。 : 着信を受けたときに点滅します。点滅中にいずれかのキーを押すと音声が出力され点灯に変わります。

H L	送信出力を表示します。 H：ハイパワー出力 (5W) を表示します。 L：ローパワー出力 (1W) を表示します。
	サブ表示部：チャンネル番号を表示します。 例） ・デジタルモードの場合：D01 ～ D65 ・アナログモードの場合：A01 ～ A35 ・ダイレクトチャンネルの場合：DR1 ～ DR5
	メイン表示部：以下の日本語表示に対応します。(全角最大7文字まで) ・チャンネルネーム　・ステータスネーム ・ID ネーム (個別 ID/ グループ ID)・起動メッセージ ・エマージェンシーテキスト etc.
	キーガイド：表示部の下側に、キーを押すと起動する機能を表示します。 例）MENU：メニューモードを起動します。 LOW：出力を LOW パワーに切り替えます。 MONI：モニターをON/OFF します。 OK：確定されます。 SELECT：選択します。 DELETE：削除されます。 CONFRM：確認します。 EXIT：解除されます。 NEXT：次のステップへ進みます。 BACK：前のステップへ戻ります。 STOP：中止します。 ※表示されるガイドは無線機の状態により異なります。

- 各アイコンは、販売店にて機能が設定されている場合に表示されます。
- 各種設定画面において、【 / 】キーの 機能がリスト選択やコード選択の場合がありますが、その際【】のキーガイドは表示されません。

通話する

待受受信操作

1 【PWR/VOL】を時計方向に回して電源を ON する

「ピーッ」と鳴って電源が入ります。電源を OFF するには **【PWR/VOL】**を「カチッ」という音がするまで反時計方向に回します。

2 【CH】を押してチャンネルを合わせる

待受受信の状態で相手から送信されると、送受信 LED が「緑」に点灯します。

音量を調節する

3 【PWR/VOL】を回す

時計方向に回すと音量が大きく、反時計方向に回すと音量が小さくなります。

デジタルモードの場合は、はじめに 12 時の位置に合わせておき、その後は相手の音声が適度な音量になるような位置に調節してください。

送信操作

4 【PTT】スイッチを押しながら話す

押しながらマイクロホンに向かって話します。送受信 LED が「赤」に点灯し、送信状態になります。

マイクロホンは口元から 3 ～ 4cm 程度離してください。近づけすぎたり、離しすぎたりすると、受信相手が聞き取りにくくなります。

【PTT】スイッチを離すと待受受信状態に戻ります。

- 他に送信している無線局がないことを確認してから送信してください（送受信 LED の緑色が消灯）。

基本機能について

メニューモード

いろいろな機能をメニュー形式で実行/設定するモードです。

メニューの操作

例) スケルチレベルの調整

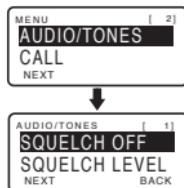
1 【メニュー】を押す

メニューモードになり、カテゴリーリストが表示されます。

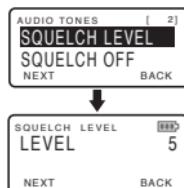
2 【︿/﹀】を押してカテゴリーを選び【 】を押す

選択したカテゴリーのファンクションリストが表示されます。
【 】を押すと前の状態に戻ります。

MENU [2]
AUDIO/TONES
CALL
NEXT

AUDIO/TONES [1]
SQUELCH OFF
SQUELCH LEVEL
NEXT BACK

3 【︿/﹀】を押してリストを選び【 】を押す

選択した機能が実行されます。

ON/OFF などの機能を設定する場合は、選択した状態が確定されます。

4 【 】を押す

メニューモードが終了します。

- 操作の途中で【 】を押すとメニューモードは終了します。
- メニューは最大8つのカテゴリーに分類されますが、カテゴリーが1つしか設定されていない場合は、直接ファンクションリストが表示されます。
- 表示されるメニューの項目やカテゴリーは設定により異なります。設定内容および機能の詳細や操作については、販売店にお問い合せください。

メニューの内容

メニューから実行/設定が可能な機能は下表の通りです。

メニュー表示(タイトル)	機能内容
GROUP	グループ呼び出しモード起動
GROUP+STATUS	グループ呼び出し+ステータスモード起動
INDIVIDUAL	個別呼び出しモード起動
INDIV+STATUS	個別呼び出し+ステータスモード起動
LOW TX POWER	送信出力の切替え (5W/1W)
MONITOR	モニター ON/OFF
ENCRYP	秘話通信 ON/OFF
ENCRYP CODE	秘話コードモード起動
SQUELCH LEVEL	スケルチレベルモード起動
SQUELCH OFF	スケルチ解除の ON/OFF
SILENT ALARM	サイレントアラームモード起動
SHORT MESSAGE	ショートメッセージモード起動
GROUP+SDM	グループ呼び出し+ショートメッセージモード起動
INDIV+SDM	個別呼び出し+ショートメッセージモード起動
STACK	スタックモード起動
STATUS	ステータスモード起動
TX EQUALIZER	送信オーディオイコライザーの設定
EXT MIC TYPE	外部マイク補正の設定
RX EQUALIZER	受信オーディオイコライザーの設定
AGC(TX)	送信 AGC の ON/OFF
AGC(RX)	受信 AGC の設定

以下の機能は、販売店の設定により使用可能となります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

タイムアウトタイマー

設定された時間が経過すると、連続送信を自動的に停止する機能です。15 秒〜 20 分の間で設定できます。
デジタルモードの場合は連続して5分以上の送信はできません。
設定された時間をすぎても【PTT】スイッチを押し続けると警告音が鳴り、離すと停止します。送信を続けたいときは一度【PTT】スイッチを離してから再度押し直してください。デジタルモードで5分以上送信を続けると警告音が鳴り、送信が停止します。この場合1分以上経過しないと再度送信することはできません。

バッテリー残量警告

バッテリーの容量が減ると、表示部の" ▭ " が点滅して知らせます。LED が「赤」に点滅し警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

送信パワーの切り替え (Low パワー)

「High：5W」に設定されているチャンネルのみ、High ⇔ Low を切り替える機能です。メニュー、または PF キー【LOW トランスミットパワー】を押して切り替えます。
あらかじめ「Low：1W」に設定されているチャンネルを「High」に切り替えることはできません。

キーロック

本体のキー操作を無効にして誤操作を防止します。PF キー【キーロック】を押して ON/OFF を切り替えます。キーロックが ON の場合でも以下のキーは操作可能です。

・【PTT】スイッチ
・【エマージェンシー】
・【バックライト】
・【モニター】
・【モニターモーメンタリー】
・【スケルチ解除】
・【スケルチ解除モーメンタリー】
・【ファンクション】

PF(プログラマブルファンクション)

本機のキーには下記機能の設定が可能です。(18、19 ページ参照)
＜機能の詳細や操作については販売店にお問い合わせください。＞
※ ( ) 内は表示部に表示されるキーガイドを示します。

- **無設定**
  機能の設定無し(空きキー)
- **バックライト (LIGHT)**
  バックライトが ON/OFF します。
- **チャンネルダウン (CH ▼)**
  チャンネル番号を 1 つ下げます。1 秒間以上押すと、押している間連続して番号が下がります。
- **チャンネルアップ (CH ▲)**
  チャンネル番号を 1 つ上げます。1 秒間以上押すと、押している間連続して番号が上がります。
- **ダイレクトチャンネル 1 ～ダイレクトチャンネル 5 (DR1 ～ DR5)**
  【ダイレクトチャンネル 1】キー～**【ダイレクトチャンネル 5】**キーに割り当てたチャンネル番号に直接移行します。
- **ダブルファンクション (FNC)**
  キーに設定された2番目の機能キーを選択できます。
- **キーロック (K_LOCK)**
  本体のキー操作を無効にします。
- **LOW トランスミットパワー (LOW)**
  送信出力の切替え (High:5W → Low:1W) を行います。
- **メニュー (MENU)**
  メニューモードに入り、各種機能の実行/設定を行います。
- **モニター (MONI)**
  押すごとにモニターが ON/OFF します。
  - モニター:シグナリングを解除して、受信信号の状態をモニターする機能です。
- **モニター・モーメンタリー (MONI)**
  押している間モニターが ON します。
- **音量アッテネート**
  スピーカーの音量アッテネーション機能を ON/OFF します。
  - 音量アッテネート機能は、オプションのスピーカーマイクの**【PF】**キーにのみ設定できます。
- **サイレントアラーム (SL_ALM)**
  着信時に相手局の音声を聞こえなくする機能です。音声による呼出しではなく、サイレントアラームトーンを鳴らして着信をお知らせします。打ち合わせ中などに便利です。

デジタルモードのみ

- **ワンタッチ・ステータス 1 ～ワンタッチ・ステータス 6 (CALL1 ～ CALL6)**
  【ワンタッチ・ステータス 1】～**【ワンタッチ・ステータス 6】**キーに割り当てたステータスを送出します。
- **エマージェンシー**
  緊急呼出の動作をします。
  - エマージェンシー機能は**【AUX】**キーにのみ設定できます。
- **グループ呼出 (GROUP)**
  登録されているグループ ID リストから選択してセレコールを行うときに使用します。（セレコールの機能）
- **グループ呼出 + ステータス (GRP+ST)**
  登録されているグループ ID リストとステータスリストを選択してステータスメッセージを送信するときに使用します。(セレコールの機能)
- **個別呼出 (INDCAL)**
  直接個別 ID 番号を入力、または登録されている個別 ID リストから選択してセレコールを行うときに使用します。（セレコールの機能）
- **個別呼出 + ステータス (IND+ST)**
  直接個別 ID 番号とステータス番号を入力、または登録されている個別 ID リストとステータスリストを選択してステータスメッセージを送信するときに使用します。（セレコールの機能）
- **秘話通信 (ENCRYP)**
  秘話機能を ON/OFF します。 1 秒以上押すと、秘話コードモードが起動します。
- **受信履歴 (スタック) (STACK)**
  スタックモードに入り、スタックデータ (着信履歴 /ステータスメッセージ) を確認したり削除できます。
- **ステータス (STATUS)**
  ステータス番号を入力、または登録されているステータスリストを選択してステータスメッセージを送信するときに使用します。（セレコールの機能）
- **ショートメッセージ (SDM)**
  最大全角 32 文字のメッセージを送信するときに使用します。（セレコールの機能）

● **グループ呼出 + ショートメッセージ (GRP+SD)**
登録されているグループ ID にショートメッセージを送信するときに使用します。(セレコールの機能)

● **個別呼出呼出 + ショートメッセージ (IND+SD)**
登録されているグ個別 ID にショートメッセージを送信するときに使用します。(セレコールの機能)

● **送信イコライザー (TX_EQ)**
マイクに入力されるオーディオ特性を切り替える機能です。

● **マイクの種別 (EX_MIC)**
オプションの外部マイクを使用するときに、オーディオ特性を均一化して最適な状態に補正する機能です。接続する外部マイクに応じた補正値が設定できます。

● **受信イコライザー (RX_EQ)**
無線機の使用状況やお好みに応じて、スピーカーに出力するオーディオ特性を切り替えることができます。

● **送信 AGC (AGC_TX)**
マイク感度を自動的にコントロールする機能です。

● **受信 AGC (AGC_RX)**
受信音量を自動的に増幅または減衰させて聞き易くすることができます。

アナログモードのみ

● **スケルチレベル (SQL)**
スケルチ(信号のないチャンネルを受信した時に聞こえる雑音をなくす機能)のスレッショルドレベルを設定するモードになります。レベルは9段階から調整します。お買い上げ時の設定は5です。
- レベルの切替は【︿/﹀】キーでおこないます。

● **スケルチ解除 (SQ OFF)**
押すごとにスケルチが ON/OFF(開いたり /閉じたり) します。

● **スケルチ解除モーメンタリー (SQ OFF)**
押している間スケルチが開きます。

デジタル通信について デジタルモードのみ

デジタルモードの機能

以下の機能は、**デジタルモード**の場合に販売店の設定により使用可能となります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

エマージェンシー (緊急送信)

緊急に連絡が必要な場合、指定局に緊急信号の送受信を行う機能です。緊急信号を受信するとビープ音と表示で緊急事態発生を知らせます。【AUX】キーを押して緊急信号を送信します。緊急送信中に再度押すと終了します。

ユーザーコード (UC) 通信

同じチャンネルを複数のユーザーが使用する場合、同じユーザーコードを設定している通話グループ同士が通話できる呼出し方式です。
本機はユーザーコード (UC) を、OFF、1 ～ 511 の範囲で設定できます。

セレコール

セレコールを使用すると、個別、グループと自由に選択して呼び出すことができます。セレコールの呼び出しを受けると、各々の呼び出し音が鳴り LED が「橙」に点滅します。

・個別呼び出し

相手局を個別に呼び出して通話できます。

・グループ呼び出し

個別局をグループに分けて、任意のグループ毎に呼び出してグループ内すべての相手と通話できます。

・ページング呼び出し

通話せずに相手局を個別に呼び出すことができます。

コネクトアンサー

セレコールが設定された無線機同士でコネクトアンサーが設定されている場合、ページング呼び出しを利用することにより相手局が通信圏内にいるかどうかを確認することができます。

ステータスコール

あらかじめ設定された簡易メッセージ (「休憩中」「作業中」など) を送信する機能です。メッセージを受信すると表示部に " ✉ " が点滅して知らせます。受信したメッセージは受信履歴 (スタック) モードで確認できます。

秘話通信

音声データに暗号化をおこない秘匿性を高めた送受信ができます。

秘話通信をおこなうには、以下のとおりグループのメンバーで同じ設定になっていることを確認してください。

① チャンネルが同じになっていること
② 秘話鍵と暗号データが同じになっていること
③ 秘話機能が ON になっていること

ショートメッセージ

全角で最大 32 文字までのメッセージを送受信することができます。メッセージは、あらかじめショートメッセージリストに 10 件まで設定しておくことができます。

その他の機能

本機には次のような機能もあります。これらの機能は販売店においてのみ設定可能です。詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

● CTCSS アナログモードのみ

CTCSS(Continuous Tone Coded Squelch)とは、音声信号にCTCSSコードを付加して送信し、自局と相手局でCTCSSコードが一致した時に、スケルチが開き受信できる機能です。特定の相手局と交信したい時にご利用ください。選択できるCTCSSコードは33波です。

● DCS アナログモードのみ

DCS(Digital Coded Squelch)とは、あらかじめ相手局と決めておいたDCSコードを音声信号に付加して送信します。

自局と相手局でDCSコードが一致した時に、スケルチが開き受信できる機能です。特定の相手局と交信したい時にご利用ください。選択できるDCSコードは83種類です。

● コンパンダ アナログモードのみ

雑音を抑えて、音声のみを明瞭にする機能です。使用する場所の周りが騒がしく、音声が聞き取りにくい場合に設定します。この機能を使用するには、送信側と受信側の双方がこの機能を設定する必要があります。

● バッテリーセーブ

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないと、この機能が働きます。信号を受信するか、キー操作が行われるとバッテリーセーブは解除されます。

バッテリーセーブ機能はバッテリーの消費を抑えますが、受信音声の頭切れが発生する可能性があります。この機能を使用する場合、送信側はPTTを押して一呼吸おいてから話し始めるようにしてください。

● マイク感度

内蔵マイクおよびオプションのスピーカーマイクの感度を、6dB～－20dBから選択できます。

● ビートシフト

受信する周波数により内部ビートが発生し、スケルチが開いてしまう場合などに、マイコンのクロック周波数を変化させて内部ビートを抑え、受信に影響を与えないようにする機能です。

● ビジーチャンネルロックアウト

送信しようとしているチャンネルを他の局が使用中の場合は、そのチャンネルでの送信を禁止する機能です。

● 通話開始トーン

【PTT】スイッチを押した後、交信可能な状態になるとこのトーンが鳴ります。

● 終話トーン

通信相手が**【PTT】**スイッチを離して送信を終了するとこのトーンが鳴ります。

● 起動画面

電源を ON したときに、表示部に任意のビットマップ画像を2秒間表示させる機能です。

● 起動メッセージ

電源を ON したときに、表示部に任意の文字列 (全角最大7文字まで) を2秒間表示させる機能です。

● プログラマブル着信トーン

ステータスメッセージを受信したときに任意の着信音を鳴らすように設定する機能です。

キー機能割り当てメモ

PF【プログラマブルファンクション】メモ

本体のキー (18,19 ページ参照) に割り当てられた機能を下の表にメモしておくと便利です。

F+: は【ダブルファンクション】キーを押した後の２番目の機能です。

キー	割り当て機能	
◯ (AUX)		F+:
(Side 1)		F+:
(Side 2)		F+:
⧉		F+:
<		F+:
︿		F+:
﹀		F+:
↩		F+:
⌂>		F+:

ID グループメモ

ID グループ名に対する実際の名称などを記入しておくと便利です。

表示	名称

運用上の注意

● **免許状**

無線局免許状は必ず無線機のそばに備えてください。

● **使用上の制限**

通話は免許状に記載された次の事項の範囲内で行わなければなりません。

1. 無線局の目的
2. 通信の相手方
3. 通信事項

また、無線機は他人に貸したり、他人のために使用することは原則としてできません

● **免許の有効期限**

免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。

● **再免許の申請**

引き続き運用する場合は、有効期間が終了する 6 ヶ月前から 3 ヶ月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。
免許ならびに再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。

● **免許の申請その他の手続き**

免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 再免許の申請
- 免許状の記載事項に変更が生じる場合の手続き
- 免許状が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
- 無線設備を変更したり、新しいものに替える場合
- 無線局を廃止する場合
- その他

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
● 電源が入らない	電池が消耗している。	充電する。	14
		予備のバッテリーパックや新しいバッテリーパックと交換する。	12
● 通話ができない ● 【PWR/VOL】を回しても音が出ない	シグナリング・スケルチ(CTCSS/DCS) のコードが違う。 **アナログモードのみ**	販売店にご相談ください。	32
	受信波が弱い。	【スケルチ解除モーメンタリー】を押す。 **アナログモードのみ**	29
	相手局とチャンネル設定が違っている。	同じチャンネル設定にする。	22
	相手局と通信方式が違っている。	販売店にご相談ください アナログ通信方式とデジタル通信方式では、交信することができません。	—
	相手局とユーザーコード(UC) が違っている。 **デジタルモードのみ**	販売店にご相談ください。	—
送信ができない	受信している。	チャンネルを変更するか、LEDの「緑」点灯が消えるのを待つ。	22
	スピーカーマイクロホンの接続が外れている。	スピーカーマイクロホンを接続する。	17
	タイムアウトタイマー(連続送信防止機能)またはビジーチャンネルロックアウトが働いている。	タイムアウトタイマーが機能した場合は、送信禁止時間が経過するのを待つ。	25, 33
● チャンネルが切り換わらない ● どのキーを押しても機能しない	キーロックになっている。	キーロックを解除する。	26

オプション(別売品)について

本機には、次のようなオプション(別売品)が用意されています。

- **KNB-62L**............リチウムイオンバッテリーパック
- **KNB-57L**............リチウムイオンバッテリーパック
- **KSC-25**..............急速充電器
- **KSC-256**...........6 連急速充電器
- **KBH-12**..............ベルトクリップ
- **KMC-42W**.........スピーカーマイクロホン
- **EMC-10**..............イヤホン付クリップマイクロホン
- **KEJ-2**..................イヤホンジャックアダプター
- **KSB-1**..................ショルダーベルト
- **KBP-5**..................バッテリーケース
- **KRA-23**..............UHF ヘリカルアンテナ
- **KLH-177**............ハードケース

■ ハードケース KLH-177 ご使用上の注意

本機にバッテリーケース KBP-5 を使用する場合、ハードケースのホックは外側で留めてください。バッテリーパック KNB-57L および KNB-62L を使用する場合は内側で留めてください。ただし、スピーカーマイクロホン KMC-42W も使用するときは、マジックテープ側 (ユニバーサルコネクター側) のみ外側で留めてください。

● 本機に使用できるオプション製品が追加されたり、生産が終了することがあります。オプション製品についてはカタログ等を参照してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証について

● **保証書（別添）**

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● **保証期間**

保証期間は、お買い上げの日より **2 年間** です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(36 ページ) を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、JVC ケンウッドは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● **保証期間中は・・・**

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間経過後は・・・**

お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

・補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● **持込修理**

この製品は持込修理とさせていただきます。

● **修理料金の仕組み**（有料修理の場合は次の料金が必要です。）

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

送料： 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

仕様

機種名	TCP-D201	
型式名	TCP-D201	
送信出力	1W/5W (免許状に準じて設定が異なります)	
チャンネル数	アナログ	デジタル
	35	65
周波数	許可された 35 波 (465/468 MHz 帯)	許可された 65 波 (467 MHz 帯)
電波型式	F3E/F2D	F1C/F1D/F1E/F1F
使用電源	7.4 V DC ± 10 %	
対応防水・防塵レベル	IP54/55/67	
寸法 (突起物を含む) KNB-62L 使用時	幅 56 × 高さ 103.8 × 奥行 32.2 mm	
	(幅 59.8 × 高さ 122.3 × 奥行 37.3 mm)	
質量 (重さ)	約 257 g (オプションのバッテリーパック KNB-62L を含む)	

- 仕様は技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

  フリーダイヤル 0120-2727-87　<電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようにご注意ください。>

  ※発信者番号が非通知の場合は、「0120」の前に「186」をつけてからおかけください。
  携帯電話・PHS・一部の IP 電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合は 045-450-8950

ＦＡＸ	045-450-2308
住所	〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付日	月曜日～土曜日（祝祭日・弊社休日を除く）
受付時間	月曜日～金曜日　9：30 ～ 18：00
	土曜日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 17：30

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または最寄りのケンウッド・サービスセンターにご相談ください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）